

” 御影供 ”



御影供(みえく、みえいく、ともいう。)

真言宗の開祖弘法大師空海は835年3月21日に入定しました。入定は真言宗に伝わる伝説的信仰で、「禅定に入る」という意味があります。弘法大師空海が永遠の瞑想に入っているという信仰を指します。

この入定の日勤修する法会を御影供といいます。

弘法大師空海は死なず、生死の境を超え、衆生救済を目的として永遠の瞑想に入り、現在も高野山奥之院へ1日2回、衣服と食事を届けることが1200年もの間続けられています。

聞く人によっては疑問を感じる人もいらっしゃるかもしれませんが、信じること・継続することの大切さを感じた人もいらっしゃると思います。

価値観は人それぞれです。

ハナブ商店では、皆様それぞれの想いを目に見えるかたちとして、日々お手伝いさせていただきます。

“茨木市立斎場での家族葬は”



想いをかたちに…

株式会社ハナブ商店

大阪府茨木市寺田町10-26 TEL:072-622-2222